

9月定例議会の一般質問・委員会質問報告

金子わたるの県政・議会報告 『わ・わ・わ通信』



皆さんお元気ですか 『わ・わ・わ通信』の金子わたるです



金子わたる

秋風が冷たく感じるようになってきた今日この頃ですが、皆さまにおかれましては、元氣にご活躍のことと存じます。日頃より私の議員・議会活動にご支援・ご協力いただきありがとうございます。

『わ・わ・わ通信』をお届けいたします。県議会9月定例会での、県議として2回目となる一般質問では、幼児検診や高齢者介護、林業振興やバイオマス活用、渋川警察署移転や上信自動車道渋川西バイパスに関わる地元問題等について質疑・提言を行いました。常任委員会、特別委員会の質問と合わせて報告します。

渋川市でもメガソーラー設置計画や北橋運動場整備事業等が進んでいます。渋川総合病院と西群馬病院の統合問題同様、地域の未来を左右する重要な計画です。県議会議員として皆さまの意見をしっかりと聞きながら、市政と連携して取り組んでまいります。

朝夕の寒さには冬の到来を感じずにはいられません。お風邪などお召しにならないようご活躍ください。

群馬県議会議員

9月県議会 補正予算・一般質問

特別養護老人ホーム 地域事情で4人部屋も



多床室での増床計画が進む
特別養護老人ホーム春日園（中郷）

特別養護老人ホームは、H23年度末で県全体で8727床整備されていますが、5月1日現在の県内入所待機者は8878人います。特養は収入により利用料の減免制度等があるため、年金支給額の少ない人に希望が多いのですが、国は減免適用でも約10万円かかるユニット型個室の整備を厚生労働省令で定め、4人部屋の新設を認めてきませんでした。

しかし、群馬県は地域の実情を考慮し、4人部屋での整備もできるような条例で定めることとしました。

今年度から介護保険制度は第5期計画期間（26年度）となり、ましたが、県の特養整備の目標値は、重介護者（介護度4と5）の割合70%以上（H22年度末69.2%）、ユニット個室の割合38%以上（同33.6%）です。整備目標数は1235床で渋川市は26年度に90床の整備が計画されています。

個室か4人部屋かの整備方針は市町村が決定できます。

5歳児運動検診を 県独自の取り組みで



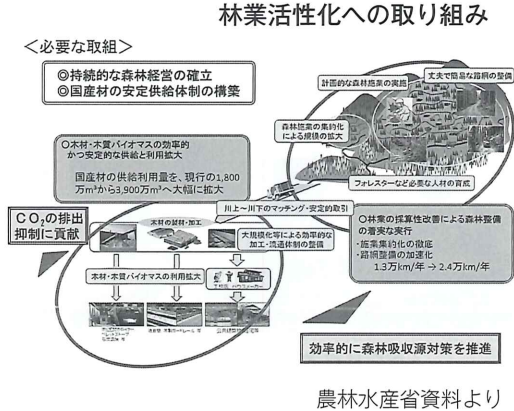
草津町で取り組みが始まった
5歳児運動検診・運動ブース風景

日本は乳幼児に対する検診として、4か月児・1歳6か月児・3歳児検診等を実施していますが、ここ数年、広汎性発達障害（高機能自閉症やアスペルガー症候群）や注意欠陥・多動性障害の子どもの割合が増え、学習障害を合わせると子ども達の4〜6%を占めるという学説もあります。群馬県でも、この5年間の発見件数は増えています。

発達障害は通常低年齢で発現することから、対策として5歳児検診を導入する自治体もあります。しかし、自主財源で実施しなければならぬことや専門スタッフの不足、適切な診断やフォローの難しさから、費用対効果が疑問を呈する専門家もいます。

このような状況の中で、今年4月から草津町で『5歳児運動検診』が始まりました。運動検診とは、ボールを使用した集団運動やハサミを使用した作業から、障害を発見しようとするものです。

障害の早期発見とフォローの有効性だけでなく、草津町の保健・福祉・医療と教育の連携への取り組みが成功することを期待し、応援してまいります。



1000万円補正で間伐 環境森林税は 一人当たり700円で検討

群馬県は北関東で森林面積が一番広く、「森林県から林業県へ」のスローガンを掲げ、森林・林業活性化プランを策定し、全国初の全量買取制度の『渋川県産材センター』も稼働しています。

林業の活性化には、切出し道路の整備や施業の集約化等の採算性改善や木材・木質バイオマスの利用拡大等が必要と提言しました。今補正でも森林所有者等が実施する下刈りや間伐に対する補助金を1000万円増額し、今年度は単独森林整備事業で合計810ヘクタールを整備します。

また、森林環境税として県民一人当たり700円、法人税7%をH26年度より導入する素案が提示されました。議会も特別委員会を設置しました。目的や財源の使途をしっかりと検討しなければなりません。皆さんのご意見もお待ちしております。



渋川県産材センターを視察

放射能対策特別委員会 学校給食等の検査充実を

今年度は「放射能対策特別委員会」に所属しています。県内の学校給食の測定体制等を質問しました。県内21市町村は独自の測定器で、14町村が県民局の測定器を使用し検査を実施しています。県民局では週4日、一日6回活用されています。

35市町村すべてで実施されていますが、食材検査や調理後に検査する等の検査方法・回数には違いがあります。検査体制の強化を求めていきます。

また、県は放射線の基礎知識や食品の安全性、汚染状況等に関する出前講座をより充実させました。ご利用ください。

指定廃棄物と渋川市の測定体制は裏面でお伝えします。

環境農林常任委員会 県内外の農業研究調査

私の所属する「環境農林常任委員会」で、7・8月に青森県産業技術センターや東北農業研究センター（岩手県盛岡市）、カネコ種苗（株）・波志江研究所や県の農業技術センター等、県内外の農業研究の調査を行いました。

米や麦等の品種改良、果樹や野菜の品種開発等の説明を受けました。地道で時間のかかる努力が、日本の農業を支えていることをあらためて実感しました。



カネコ種苗（株）・波志江研究所（伊勢崎）

一般質問、委員会質問で 地元課題の実現を



新渋川警察署は 運転免許証即日交付へ

渋川警察署はベイシア渋川店南に移転し、H27年に開署します。渋川市議会9月定例会で、2億8550万円で県への用地売却が可決され、造成工事が始まります。新警察署は敷地が1万1973㎡で現在の約3倍、庁舎は鉄筋コンクリート造5階建てで5340㎡(約3.7倍)、来庁舎駐車場も台数が2.5倍となり、けん銃射撃場も併設されます。運転免許証も即日交付が可能となり、住民サービスの向上が図られます。

四ツ角西・旧さとり百貨店跡 県営住宅36戸が移転

上信自動車道渋川西バイパスのルートには、入沢県営住宅3棟・36戸がかります。H28年度のバイパス工事着工前に建物撤去が必要のため、移転場所が検討されましたが、四ツ角西・ネイブルスクエア(旧さとり百貨店跡地)に決定しました。移転前と同じ家族用36戸が、27年度中に新築される計画です。地元より要望が出ている建物1階のコミュニティスペースは、市が建設費・管理費を負担すれば建設可能という県の見解が答弁されました。



ネイブルスクエア
(9月30日・まちなか広場交流イベント)

指定廃棄物処分場は 地元同意を前提にするべき

原発事故の影響により発生した8000ベクレル/kgを超える指定廃棄物は、県内6市町村で1000トンを超えます(左表参照)。国は指定廃棄物処分場を県ごとに設置する計画ですが、栃木県・茨城県では地元自治体との調整ができません。地元への説明なしに突然設置自治体を決めることのないよう、国に強く要望するよう求めました。



市が貸し出している測定器
(小野子山中での測定風景)

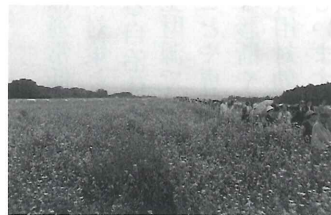
群馬県内の8,000ベクレル/kg超廃棄物の保管量内訳

所在市町村	保管量(トン)	種類
前橋市	290	下水汚泥(焼却灰)
高崎市	280	下水汚泥(焼却灰) 浄水発生土
桐生市	30	下水汚泥(焼却灰)
渋川市	318	浄水発生土
富岡市	25	浄水発生土
榛東村	96	浄水発生土
合計	1,039	

今年3月からは空間放射線測定器の貸し出し(本庁舎・各総合支所、要予約)、5月からは食品(自家用農産物等)の放射線検査(本庁舎西棟、要予約)が始まり、市民の安心・安全の確保に努めています。

行幸田そば畑に メガソーラー建設

行幸田の市有地約4万6000㎡(行幸田そば畑)に大規模太陽光発電所(メガソーラー)が建設されます。市が事業者を募集し、選考の結果、オリックス株(東京都港区)に決定しました。来年3月までに土地の賃貸借契約を結び、4月以降に施設を整備します。土地の貸出期間は発電事業開始から20年間で、出力は最大約3.3メガワット。年間で一般家庭約870世帯分に相当する発電量になる予定です。



行幸田そば畑(9月30日・そば祭り)

県営赤城西麓土地改良 地権者同意に丁寧な対応を

県営赤城西麓土地改良事業は利根村・昭和村・旧赤城村、旧北橋村、旧富士見村にまたがる2400ヘクタール(全19団地)を対象にした想定計画407億1600万円の事業です。

昭和60年より事業が始まり、赤城地区以外は完成しています。赤城地区の13団地は、完成が3、着工が2、調査が2、未採択が6で進捗率は24%です。

後継者不足等、農業を取り巻く環境が厳しくなる中で、地権者の同意について丁寧な対応を求めました。



羽場坂地区の竣工式(H24年3月)

高崎渋川線バイパス 渋川市内ルートの測量開始

高崎渋川線バイパス2期工区は順調に工事が進み、今年6月には金古〜上野田間が開通となり、来年3月には小倉までの間も開通となります。高崎市の問屋町入口〜大八木工業団地間(高崎イオンモール先の突き当たり)も今年3月に開通し、とても便利になりました。

小倉〜行幸田・とりせん交差点(2.6km)間の第3期工区は、地元自治会、地権者等との協議が終了し、小倉地区では9月に境界立会いを実施し、今年度内に用地買収に着手します。行幸田地区でも10・11月で境界立会いを実施



旧群馬町金古〜吉岡町上野田間
高崎渋川線バイパス開通式

します。今後地元と県との調整を図っていきます。

上信自動車道祖母島バイパス着工 中村上郷線 豊秋小西交差点に歩道橋を

上信自動車道は今年5月に祖母島バイパスが着工となり、金井・川島バイパスも測量が進んでいます。

渋川西バイパスも9月に入沢、金井本町への住民説明会が開催され、中村上郷線の現道を利用する、中村〜石原交差点間はH25年度中の4車線化に向けて工事が進んでいます。

入沢〜金井本町間は28年度以降



上信自動車道建設期成同盟会
群馬県知事要望(知事応接室)

の整備計画ですが、立ち退きとなる住民は時期や補償内容、道路に接する住民は出入口や生活道路の確保に関して不安があります。また、高規格道路化の安全対策で要望が出ている豊秋小西交差点の歩道橋は、早期の設置で県が国に要望しています。今後地域発展につながる計画となるように、皆さまの声を県、国へ届けていきます。



早期の歩道橋設置を
(豊秋小学校西交差点)